12月14日 現在

令和3年度　研修・セミナーのご案内（下期：10月 → 3月）

山梨産保センター　検索

山梨産業保健総合支援センターでは、産業保健に関係するすべての方に対し、専門的かつ実践的能力の向上を図ることを目的とした研修・セミナーを開催しています。参加ご希望の方は当センターホームページの「申込フォーム」又はFAXをご利用ください。

ホームページ：https://www.yamanashis.johas.go.jp/seminar　FAX:055-220-7021　受講料は**無料**です。

【開催場所】　山梨県医師会館(甲府市徳行5-13-5)

内容に『認』と表示したセミナーは、山梨県医師会との共催です。認定産業医研修＜生涯研修＞の単位が取得できます。

《衛》は、山梨衛生管理者交流会との共催です。

なお、当センターでは新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、研修・セミナーの参加者や関係者の健康・安全面を第一に考え対処しておりますのでご理解・ご協力をお願いいたします。

独立行政法人 労働者健康安全機構 山梨産業保健総合支援センター
〒400-0047　山梨県甲府市徳行5-13-5　山梨県医師会館２階　TEL 055-220-7020　FAX 055-220-7021

日　時	テーマ	内　容	講師	研修会場	定員
１０月１日(金) 14時～16時	過重労働による健康障害防止のための総合対策について	過重労働による健康障害を防止するためには、時間外労働の削減、年休の取得促進等のほか、健康管理体制の整備や健康診断の実施など、様々な措置を徹底することが重要です。本研修では、過重労働をなくすための取り組みを実施する際のポイントについてお話しします。 『認：専門２単位』	岡村光男 （弁護士）	1階多目的エリア	20名
１０月７日(木) 14時30分～17時	第4回産業看護職セミナー 「データや行動変容の理論に基づく、職場の健康づくり」 ～新型コロナウイルス感染症を例に～	職場の健康教育は、事業所の事情に応じた場所や時間で、効果的に実施するための工夫が求められます。行動変容の理論を学び、日々の個人・集団へのアプローチを振り返るとともに、明日からの裏付けある実践に活かします。なお、今回は新型コロナウイルス感染症を例に、データに基づいた健康教育について学びます。（講義・情報交換）	鈴木　孝太 (愛知医科大学教授 産業保健科学センター長)	Ｗｅｂ	30名
１０月８日(金) 14時～16時	働く人の健康・体力づくり	労働者の健康保持増進のための身体活動の意義及び、健康・体力づくり運動の事例を紹介するとともにその実際についても解説します。 『認：専門２単位』	依田武雄（健康運動指導士）	1階多目的エリア	20名
１０月１３日(水) 14時～16時30分	職場のメンタルヘルス相談員研修(事例検討) ＜Ⅲ期シリーズ:４回＞Ⅱ期－３回目	職場でのメンタルヘルス相談に携わっている方々を対象によりステップアップした技量の習得を目指し、事例を基に検討します。様々なケースによる「相談対応能力の強化」に着目し、メンタルヘルスケア推進のための相談対応の実践力を習得していただきます。 『認：実地２単位』	菅　弘康 （臨床心理士）	2階共同会議室	10名

日　　時	テーマ	内　　容	講師	研修会場	定員
１０月１５日(金) 14時～16時30分	産業カウンセリング研修～職場におけるカウンセリングの技法を学ぶ～＜Ⅱ期シリーズ：4回＞Ⅱ期－2回目	職場における人間関係構築のための傾聴技法について演習を通して学んでいただきます。「相談して良かった」と思ってもらえよう相手に共感的に寄り添ってください。本研修は、職場のコミュニケーションを円滑にしていくためにも効果的です。 『認：専門２単位』	中村幸枝 （産業カウンセラー）	1階多目的エリア	20名
１０月１５日(金) 15時30分～17時	若年性認知症セミナー	若年性認知症については、本人や家族が地域や職場で周囲に相談できず孤立しがちになる程の課題があります。本人の思いや支援体制などを紹介することにより、若年性認知症に対する理解の普及啓発や、就労継続支援等の支援体制についての理解を深めます。 『認：専門1.5単位』	久保田正春 （日下部記念病院長）	1階多目的エリア	20名
１０月２２日(金) 14時～16時	令和３年度石綿関連疾患診断技術研修	原則として、石綿関連疾患に関する診断・治療について未経験の医療関係者を対象に、石綿に関する一般知識及び職域におけるばく露、労災補償制度並びに石綿関連疾患の病態、診断及び臨床について学びます。 『認:更新２単位』	松尾正樹 （中部労災病院副院長）	1階多目的エリア	20名
１０月２６日(火) 14時～16時	管理監督者向けメンタルヘルス教育	職場のメンタルヘルス対策において、管理者が部下のケアや職場環境改善に力を発揮していただく取組みをラインケアといいます。鍵となる役割として、メンタルヘルスの基礎知識から部下への関わり方、職場のコミュニケーション改善等、知っておいていただきたい知識を学んでいただきます。 《衛：レベルアップ研修238》『認：専門２単位』	長田暢子 （公認心理師）	1階多目的エリア	20名
１０月２7日(水) (10.20から変更) 14時～16時	飲酒と喫煙の科学 ～健康生活のために知っておくこと～	問題飲酒行動や新型タバコの広がりなど、酒とたばこも新しい課題を抱えている。労働者が自らの健康を考え、健康的な生活を送るためにも知っておきたいことを解説する。（前年度の研修内容と同様となります） 『認：専門２単位』	小田切陽一 （山梨県立大学大学院特任教授）	1階多目的エリア	20名
１０月２7日(水) 14時～16時	治療と仕事の両立支援セミナー 「両立支援コーディネーターフォローアップ研修」	両立支援コーディネーターの活動の際に役立つ基礎知識の復習と、事例検討を通じて支援対象者を観る観点について再確認します。 『認：専門２単位』	雨宮　隆浩 （両立支援促進員） 高野　和美 （両立支援促進員） 山梨労働局	会議室Ⅱ	20名
１１月１０日(水) 14時～16時30分	職場のメンタルヘルス相談員研修(事例検討) ＜Ⅲ期シリーズ:４回＞Ⅱ期－４回目	職場でのメンタルヘルス相談に携わっている方々を対象によりステップアップした技量の習得を目指し、事例を基に検討します。様々なケースによる「相談対応能力の強化」に着目し、メンタルヘルスケア推進のための相談対応の実践力を習得していただきます。 『認：実地2.5単位』	菅　弘康 （臨床心理士）	2階共同会議室	10名
１１月１２日(金) 14時～16時	企業の安全配慮義務 ～なぜ生活習慣病対策が必要か～	企業の安全（健康）配慮義務という観点から企業としても生活習慣病対策を実施しなければならない理由について説明します。 『認：専門２単位』	宮村季浩 （山梨大学教授）	１階研修室	20名

中止

日　　時	テーマ	内　　容	講師	研修会場	定員
１１月１６日(火) 14時～16時	【健康管理セミナー】 生活習慣病予防対策（シリーズ①食事編）	健康診断の結果、いわゆる生活習慣病に関する有所見率がどこの職場も高く、なかなか改善されない実情の中で、健康管理の基本である３本柱（食事・運動・休養（睡眠））について、シリーズで学びながら、社員が主体的に健康行動を起こすためにはどういう教育が効果的か学びます。（その１：食事編） 『認：専門２単位』	小山勝弘 (山梨学院大学教授)	１階多目的エリア	20名
１１月１９日(金) 14時～16時30分	産業カウンセリング研修～職場におけるカウンセリングの技法を学ぶ～＜Ⅱ期シリーズ：4回＞Ⅱ期－3回目	職場における人間関係構築のための傾聴技法について演習を通して学んでいただきます。「相談して良かった」と思ってもらえよう相手に共感的に寄り添ってください。本研修は、職場のコミュニケーションを円滑にしていくためにも効果的です。 『認：専門２単位』	中村幸枝 （産業カウンセラー）	1階多目的エリア	20名
１１月２４日(水) 14時～16時	治療と仕事の両立支援セミナー 「支援者に必要な知識と面接技術」	事業所で両立支援の取り組みにおいては、「相談してみよう」と労働者が病気の診断を受けた時に思い浮かぶような相談窓口が必要です。産業保健スタッフや管理職が、病気の診断を受け不安を抱える労働者から相談を受ける際に役立つ知識を学びます。 『認：専門２単位』	長田　暢子 （公認心理師） 有田　明美 （両立支援促進員） 山梨労働局	1階多目的エリア	20名
１１月２６日(金) 14時～16時	衛生管理者の役割と職務について ～産業医・衛生管理者の職場巡視～	衛生管理者にはどのような職務があり、どのように遂行したらよいかについて解説します。今回は、衛生管理者と産業医がどのような点に注意して職場巡視を行えばいいのか、それぞれの役割や巡視のポイントについて一緒に考えてみましょう！ 《衛：レベルアップ研修239》『認：実地２単位』	森　博幸 （労働衛生コンサルタント）	1階多目的エリア	20名
１２月８日(水) 14時～16時30分	職場のメンタルヘルス相談員研修(事例検討) ＜Ⅲ期シリーズ:４回＞ⅲ期－1回目	職場でのメンタルヘルス相談に携わっている方々を対象によりステップアップした技量の習得を目指し、事例を基に検討します。様々なケースによる「相談対応能力の強化」に着目し、メンタルヘルスケア推進のための相談対応の実践力を習得していただきます。 『認：実地2.5単位』	菅　弘康 （臨床心理士）	2階共同会議室	10名
１２月９日(木) 14時～16時	精神疾患への正しい理解のために ～共に働きやすい環境への配慮とポイント～	精神障がいを持つ労働者への偏見や誤解について、精神疾患の区分ごとに症例を紹介し、企業におけるルールと疾病への配慮について考えます。 『認：専門２単位』	平田卓志 （精神科医）	1階多目的エリア	20名
１２月１４日(火) 14時～16時	【健康管理セミナー】 生活習慣病予防対策（シリーズ②運動編）	健康診断の結果、いわゆる生活習慣病に関する有所見率がどこの職場も高く、なかなか改善されない実情の中で、健康管理の基本である３本柱（食事・運動・休養（睡眠））について、シリーズで学びながら、社員が主体的に健康行動を起こすためにはどういう教育が効果的か学びます。（その２：運動編） 『認：専門２単位』	小山勝弘 (山梨学院大学教授)	１階多目的エリア	20名
１２月１５日(水) 14時～16時	自殺の疫学 ～勤労者層に焦点をあてて～	自殺の現状および疫学からみた課題について、勤労者層のリスクを中心に解説します。 『認：専門２単位』	小田切陽一 （山梨県立大学大学院特任教授）	1階多目的エリア	20名

日　　時	テーマ	内　　容	講師	研修会場	定員
１２月１７日(金) 14時～１６時30分	産業カウンセリング研修～職場におけるカウンセリングの技法を学ぶ～＜Ⅱ期シリーズ：4回＞Ⅱ期－4回目	職場における人間関係構築のための傾聴技法について演習を通して学んでいただきます。「相談して良かった」と思ってもらえよう相手に共感的に寄り添ってください。本研修は、職場のコミュニケーションを円滑にしていくためにも効果的です。 『認：専門2.5単位』	中村幸枝 （産業カウンセラー）	1階多目的エリア	20名
令和４年 １月１２日(水) 14時～16時30分	職場のメンタルヘルス相談員研修(事例検討) ＜Ⅲ期シリーズ:４回＞ⅲ期－2回目	職場でのメンタルヘルス相談に携わっている方々を対象によりステップアップした技量の習得を目指し、事例を基に検討します。様々なケースによる「相談対応能力の強化」に着目し、メンタルヘルスケア推進のための相談対応の実践力を習得していただきます。 『認：実地2.5単位』	菅　弘康 （臨床心理士）	2階共同会議室	10名
１月１８日(火) 14時～16時	ストレスチェック制度を実施してから働きやすい職場に向けて～これから始める職場環境改善～	ストレスチェック制度の集団分析は努力義務ではありますが、働きやすい職場の環境改善に活用できるポイントがたくさんあります。休職者や離職者を出さない職場つくりの方法を知り、具体的な取組みについてグループワークで検討していきます。 『認：更新２単位』	長田暢子 （公認心理師）	1階多目的エリア	20名
１月２０日(木) 14時～16時	【健康管理セミナー】 生活習慣病予防対策(シリーズ④ 心臓病のリスク)	心臓病は、がんに次いで日本人の死因の第２位を占めます。日本人の心臓病の約半分は虚血性心疾患で、突然死の最大原因として注目されています。突然死を回避するために最も大切なことは、可能なかぎり予知し予防することが大切です。虚血の主な原因は動脈硬化と言われています。動脈硬化の原因には加齢もありますが、多くは生活習慣病と密接にかかわっています。今回の研修では、これらの対策・治療等について解説します。 『認：専門２単位』	齋藤順一 （産業医）	1階多目的エリア	20名
１月２５日(火) 14時～16時	【健康管理セミナー】 生活習慣病予防対策（シリーズ③休養編）	健康診断の結果、いわゆる生活習慣病に関する有所見率がどこの職場も高く、なかなか改善されない実情の中で、健康管理の基本である３本柱（食事・運動・休養（睡眠））について、シリーズで学びながら、社員が主体的に健康行動を起こすためにはどういう教育が効果的か学びます。（その３：休養編） 『認：専門２単位』	小山勝弘 （山梨学院大学教授）	１階多目的エリア	20名
１月２６日(水) 14時30分～16時30分	第5回産業看護職セミナー 定期健康診断を見直す ～健康診断の企画から健康レベルに応じた事後フォローまで～	定期健康診断は、事業者が労働者の健康状態を把握し、適切な就業上の配慮を行うこと、また労働者にとっては、自身が労働力を提供するための健康保持増進に役立てる目的があります。それぞれの目的に立ち返り、事業所の定期健康診断の一連の評価の観点を確認します。（講義・情報交換）	岡本まさ子 （産業医）	Ｗｅｂ	30名
１月２８日(金) 14時～16時	化学物質の管理とあり方について ～リスクアセスメントの基礎と実践～	平成２８年に化学物質リスクアセスメントが義務付けられました。今回は、化学物質を取り扱う上で労働衛生管理をどのように行って行けばよいのか及び一般的なCB法等の他に少量取り扱いのラボで推奨されるCS法及び個人サンプリングについて説明します。 《衛：レベルアップ研修240》『認：実地２単位』	望月明彦 （労働衛生コンサルタント）	1階多目的エリア	20名

日　　時	テーマ	内　　容	講師	研修会場	定員
2月1日(火) 14時～16時	身につけてみませんか アサーティブなコミュニケーション	職場で自分の言いたいこと、言いづらいことを上手に伝えられていますか？本研修では、自分も大切にして、ストレスをためずに自己表現ができるようになるためのコミュニケーションスキルをグループでのディスカッションも交えて体験していただければと思います。 『認：専門２単位』	長田暢子 （公認心理師）	1階多目的エリア	20名
2月6日(日) 13時30分～16時30分	SBIRTS普及促進セミナー	アルコール依存症からの回復には、医療機関受診後の長期的回復のためのフォローが必要であり、特に自助グループへの連結が大切であります。その手法としての「ＳＢＩＲＴＳ」の概要や本県における取り組み等についてご紹介します。 『認： 専門３単位 』	菅沼直樹 (医療法人成精会 刈谷病院副院長) 他	１階講堂	40名
2月8日(火) 14時～16時	両立支援コーディネーター事例検討会	企業・医療機関・相談機関、あらゆる立場で労働者の治療と仕事の両立支援にかかわる両立支援コーディネーターのための事例検討会です。事例検討を通して、支援の場の違いを超えて、目的を同じくする参加者同士の交流・ネットワーク作りを目的に開催します。 （対象：両立支援コーディネーター）	一石高司 (独立行政法人 労働者健康安全 機構関東労災病 院治療就労両立 支援センター MSW)	１階多目的エリア	20名
2月9日(水) 14時～16時30分	職場のメンタルヘルス相談員研修(事例検討) <Ⅲ期シリーズ:4回>ⅲ期－3回目	職場でのメンタルヘルス相談に携わっている方々を対象によりステップアップした技量の習得を目指し、事例を基に検討します。様々なケースによる「相談対応能力の強化」に着目し、メンタルヘルスケア推進のための相談対応の実践力を習得していただきます。 『認：実地2.5単位』	菅　弘康 （臨床心理士）	2階共同会議室	10名
2月１７日(木) 14時～16時	職場でできる簡単なストレッチ ～運動で腰痛、肩こり予防～（実習）	近年オフィスにおいてもＩＴ機器の発達によりデスクワークが増え、“肩こり・腰痛”は製造業や運送業だけではなく事務職にとっても大きな問題となっております。 デスクワークで長時間イスに座り続けると、筋肉がかたくなったり姿勢が崩れたりするため、肩こりや首こり、腰痛の原因になります。 本研修では、簡単にできるストレッチを実際に体験してもらうとともに、指導する際のポイント等についてお話いたします。 『認：実地２単位』	西條富美代 (帝京科学大学准教授)	1階多目的エリア	20名
3月3日(木) 14時～16時	健康診断事後措置の重要性と健康づくり	定期健康診断が労働者の健康保持・増進のために効果を上げるためには、事後措置（就業措置）および保健指導によって、改善に向けた働きかけが行われることが大切です。一方、労働衛生における健康管理の守備範囲は、どんどん広がりつつあります。その中で健康管理の意義をどのように考え産業保健の場でいかに進めていくとよいのか一緒に考えていきたいと思います。 《衛：レベルアップ研修241》『認：専門２単位』	齋藤順一 （産業医）	1階多目的エリア	20名
3月9日(水) 14時～16時30分	職場のメンタルヘルス相談員研修(事例検討) <Ⅲ期シリーズ:4回>ⅲ期－4回目	職場でのメンタルヘルス相談に携わっている方々を対象によりステップアップした技量の習得を目指し、事例を基に検討します。様々なケースによる「相談対応能力の強化」に着目し、メンタルヘルスケア推進のための相談対応の実践力を習得していただきます。 『認：実地2.5単位』	菅　弘康 （臨床心理士）	2階共同会議室	10名

日　　時	テーマ	内　　容	講師	研修会場	定員
３月１０日(木) 14時～16時	産業医を対象としたメンタルヘルスへの かかわり方について ～ストレスチェック制度のあらましと長時間労働者、高ストレス者に対する面接指導～	平成２７年１２月から企業においてストレスチェックが義務化されました。このストレスチェックで高ストレス者と判定された労働者に対して、どのように面接指導すればよいのかを検討します。なお、今回は長時間労働者についての面接指導にも触れますが、今後の法改正によって対応が変わる可能性があることにご留意ください。 『認：実地２単位』	平田卓志 (精神科医)	1階多目的エリア	20名